

# 名護市ハザードマップ(山田区)

津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、  
できるだけ高い場所へ避難しましょう。



## 我部祖河

沖縄共同ガス JAおきなわ生活事業本部

**JJA河内SS**

JAおきなわGPセンター

伊差川大堂市営住宅(8m)

71

## 伊差川

県営伊差川団地

JAおきなわ羽地

(伊差川(北))

(伊差川(西))

伊差川駐在所

58

カーエネクスひさし商事羽地SS

伊藤園

振慶名公民館(10m)

⑤ 羽地小学校(8m)

川上公民館(18m) 6

④ 田井等公民館(12m)

特別養護老人ホーム  
瑞穂の郷(16m)

## 川上

① 山田公園(14m)

⑥ 山田公民館(16m)

② 伊差川公民館(20m)

③ 伊差川運動公園(18m)

## 親川

## 田井等

## 振慶名

津波避難場所	海拔 m
① 山田公園	14m
② 伊差川公民館	20m
③ 伊差川運動公園	18m
④ 田井等公民館	12m
⑤ 羽地小学校	8m
⑥ 川上公民館	18m

0 500m

### 凡例

津波避難場所

土砂災害危険箇所

土砂災害警戒区域

国道

県道

信号機

大字界

公共機関

交番・派出所

教育

高齢者

お買物 工場 大きな公園 GS

**ハザードマップの使い方**

## ① ハザードマップの見方

ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けして表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内の で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、 で表記されているエリアは土砂災害警戒区域を示しています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。

※高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。

浸水深：0.3～1m 避難行動がどれなく（動くことができなくなる）		1.0m
浸水深：1～2m 津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなる。		
浸水深：2～5m 木造家屋のほとんどが全壊する。		
浸水深：5～10m 2階建ての建物（あるいは2階部分まで）が水没する。		
浸水深：10m以上 3階建ての建物（あるいは3階部分まで）が完全に水没する。		

## ② 避難場所を確認しましょう

それぞれ災害の種別を考慮し、悪天候時や、夜間の視界が悪いことを想定して家族全員で避難場所を確認してください。

## ③ 避難ルートを地図に記入しましょう

災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。

家族全員の目の届く所に貼り出しておくことにより、いつでも確認ができます。

## ④ 避難時の持ち出し品をチェックしましょう

避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備をしておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

避難時持ち出し品		
<input type="checkbox"/> 非常用飲料水 	<input type="checkbox"/> 救急用品（包帯・三角巾・消毒液等） 	<small>小さい子供がいる家庭は</small> <input type="checkbox"/> ミルク、ほ乳びん 
<input type="checkbox"/> 食料（カップ麺・缶詰・乾パン等） 	<input type="checkbox"/> 筆記用具（鉛筆・ノート等） 	<small>小さい子供がいる家庭は</small> <input type="checkbox"/> おむつ、ウェットティッシュ 
<input type="checkbox"/> 貴重品（現金・通帳・印鑑等） 	<input type="checkbox"/> 衣類（Tシャツ・ジャンバー・下着等） 	<small>小さい子供がいる家庭は</small> <input type="checkbox"/> 肌着などの衣類 
<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池） 	<input type="checkbox"/> マッチやライター ろうそくなど 	<input type="checkbox"/> その他1 
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（予備電池） 	<input type="checkbox"/> 車手（厚手の手袋） ヘルメット 	<input type="checkbox"/> その他2 

# 台風について

## ① 台風が接近したら、まず家の補強

補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、物干し、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。

また、植木鉢は強風で倒されたり、飛ばされる恐れがあるので1ヶ所にまとめておくと安全です。

## ② 停電や断水に備え、備品のチェック

飲料水、食料、簡単な医療品、下着、懐中電灯、ライター、ラジオは揃えてリュックに入れておきましょう。

### 非常備蓄品

#### □ 非常用飲料水

#### □ 下着 (2~3着分)

#### □ マッチやライター ろうそくなど

#### □ 食料

(カップ麺・缶詰・米など  
4~5食分)

#### □ 懐中電灯

(予備電池)

#### □ ラジオ

(予備電池)

#### □ 医療品

#### □ 水の確保

1人1日あたり3㍑の水が必要といわれています。  
「洗う」「消す」「トイレに流す」などいろいろなところ  
で使う必要がありますので、お風呂の水はいつも  
はっておくようにしましょう。

\*1人最低3日分は用意しておきましょう。 \*非常時用備蓄品は年に1度はチェックして、新しい物に交換しましょう。

## ③ 気象情報に注意しましょう

台風等の気象情報は、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集し、町や防災機関の広報等にも注意して聞いておきましょう。

沖縄気象台

<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>

# 大雨について

## ① 急傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意

大雨や集中豪雨で発生する土砂災害。

1. 小石がパラパラ落ちる。

2. 地面にひび割れができる。

3. 斜面から濁った水が流れ出ている。

等を発見したら注意しましょう。

また、避難勧告が出たらすぐに避難してください。

## ② 冠水した道路の運転に注意

冠水路は迂回をし侵入しないようにしましょう。

冠水した道路の注意

1. 水没したらドアが開くうちに避難する。

2. ゆっくり走っても走りきれるとは限らない。

3. 速度を上げて走ると巻き上げる水量が増え、エンジン  
が止まりやすくなる。

4. エンジンに水が入れば止まってしまう。

5. 冠水路は水深も水の中の

様子もわからない。